

【胃がん検診(X線検査)精度管理5指標】(令和4年度)

単位 %	市町																				検診機関	
	金沢市		七尾市	小松市	輪島市	珠洲市	加賀市	羽咋市	白山市	能美市	野々市市		川北町	津幡町	内灘町	志賀町	宝達志水町	中能登町	穴水町	能登町	成人病 予防セン ター	予防医学 協会
検診実施方法	集団	個別	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	個別	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団	集団
対象者数(人)	112,322		13,573	25,717	6,729	3,670	17,184	5,471	28,578	11,909	11,689		1,419	10,379	6,888	5,238	3,409	4,491	2,183	4,521	97,259	97,259
受診者数(人)	895	772	696	791	288	218	861	215	651	541	255	54	129	409	352	305	258	238	113	157	5,251	2,119
受診率	1.2	11.1	7.3	4.1	6.2	9.8	7.4	5.9	3.0	5.9	3.0	11.0	14.7	5.2	6.4	8.2	10.9	7.4	7.1	5.6	9.6	2.9
要精検率	4.9	2.7	8.7	4.8	7.8	10.5	6.7	8.5	7.5	4.0	6.8	9.3	4.8	2.9	2.0	7.9	5.5	7.5	4.9	5.5	8.6	4.5
精検受診率	67.7	85.7	88.0	87.7	82.7	73.1	95.3	75.9	92.3	84.1	75.0	60.0	81.8	95.2	100.0	80.0	90.6	93.0	91.7	88.9	80.6	81.7
胃がん発見率※	0.044	0.079	0.155	0.169	0.233	0.353	0.214	0.109	0.198	0.229	0.129	0.197	0.000	0.058	0.106	0.226	0.096	0.032	0.145	0.000	0.136	0.080
陽性反応適中度※	0.528	2.273	1.468	2.751	2.278	3.236	2.039	1.235	2.021	4.075	1.422	1.852	0.000	1.170	2.703	2.247	1.136	0.333	1.538	0.000	1.581	2.186

※ 市町は地域保健・健康増進事業報告、検診機関は石川県生活習慣病管理指導協議会における課題検討結果報告より算出。

※ 対象者数、受診者数、受診率は50～69歳、その他の指標は50歳以上を算定の対象としている。

※ 対象者数はX線のみ的人数。受診率は胃内視鏡検査と合わせた数値であり、2年に1回の受診率。

※ 市町の胃がん発見率と陽性反応適中度は5年平均で算出。

※ 厚生労働省「胃がん検診のあり方に関する検討会報告書「胃がん検診事業のあり方について(令和5年6月)」別添6より「検診間隔1年」の基準値を用いている。網掛けは基準値に達していない市町。

●「受診率」

胃がん検診の対象者（算出方法は市町によって異なる）のうち受診された方の割合です。高いことが望ましいとされています。

●「要精検率」：要精検者/全受診者

受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合で、基準値は7.6%以下とされています。

●「精検受診率」：精検受診者/要精検者

「要精密検査」とされた方のうち、実際に精密検査を受けられた方の割合で、精度評価の最も重要な指標と位置付けられています。高いことが望ましく、基準値は90%以上とされています。

●「胃がん発見率」：発見胃がん患者/全受診者 ※市町はH30～R4の5年平均

受診された方のうち胃がんが発見された方の割合で、基本的に高ければ高い方が望ましい指標です。基準値は0.11%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出してあります。

●「陽性反応適中度」：発見胃がん患者/要精検者 ※市町はH30～R4の5年平均

検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に胃がんがあった方の割合で、基準値は1.5%以上とされています。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、5年間の平均で算出してあります。

※「精検受診率」は基準値を下回るとは良くないとされていますが、それ以外の指標は、人口構成による違いや継続受診者の比率、喫煙者の比率などによっても大きな影響を

【胃がん検診(内視鏡検査)精度管理5指標】(令和4年度)

単位 %	市町											
	金沢市	小松市	珠洲市	加賀市	白山市	能美市	野々市市	津幡町	内灘町	中能登町	穴水町	能登町
検診実施方法	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別	個別
対象者数(人)	112,322	25,717	3,670	17,184	28,578	11,909	11,689	10,379	6,888	4,491	2,183	4,521
受診者数(人)	8,047	778	47	326	1,134	374	653	471	98	140	8	76
受診率	11.1	5.5	1.0	2.8	7.0	6.8	11.0	5.9	2.5	4.8	0.6	2.7
要精検率	4.5	9.4	2.1	8.3	6.9	11.7	5.1	8.7	3.0	6.9	0.0	7.6
精検受診率	96.5	100.0	100.0	92.6	98.0	94.0	97.3	100.0	100.0	100.0	-	100.0
胃がん発見率	0.238	0.207	2.128	0.061	0.382	0.335	0.391	0.405	0.340	0.535	0.000	0.319
陽性反応適中度	5.095	2.222	100.000	0.680	5.102	3.146	6.468	4.972	3.846	6.452	0.000	3.571

※ 市町は地域保健・健康増進事業報告、検診機関は石川県生活習慣病管理指導協議会における課題検討結果報告による。

※ 対象者数、受診者数、受診率は50～69歳、その他の指標は50歳以上を算定の対象としている。

※ 受診率はX線検査と合わせた数値であり、2年に1回の受診率。

※ 市町のがん発見率と陽性反応適中度は5年平均で算出。

※ 厚生労働省「がん検診のあり方に関する検討会報告書「がん検診事業のあり方について(令和5年6月)」別添6においては胃がん内視鏡の基準値は示されていない。

● 「受診率」

胃がん検診の対象者（算出方法は市町によって異なる）のうち受診された方の割合です。高いことが望ましいとされています。

● 「要精検率」：要精検者/全受診者

受診された方のうち精密検査が必要とされた方の割合です。

● 「精検受診率」：精検受診者/要精検者

「要精密検査」とされた方のうち、実際に精密検査を受けられた方の割合で、精度評価の最も重要な指標と位置付けられています。高いことが望ましい値です。

● 「胃がん発見率」：発見胃がん患者/全受診者

受診された方のうち胃がんが発見された方の割合で、基本的に高めれば高い方が望ましい指標です。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、解釈には注意が必要です。

● 「陽性反応適中度」：発見胃がん患者/要精検者

検診で「要精密検査」とされた方のうち、実際に胃がんがあった方の割合です。規模が小さい市町の場合その年ごとの増減が大きくなるため、解釈には注意が必要です。